

製品名: ヒストン H1.3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85650**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	Histone H1.3
別名	Histone H1c; Histone H1s-2
遺伝子 ID	3007.0
SwissProt ID	P16402
免疫原	ヒトヒストン H1.3 の合成ペプチド

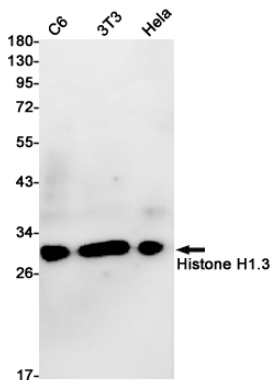
背景

ヒストン H1 タンパク質は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA に結合し、クロマチン繊維と呼ばれる高分子構造を形成します。ヒス

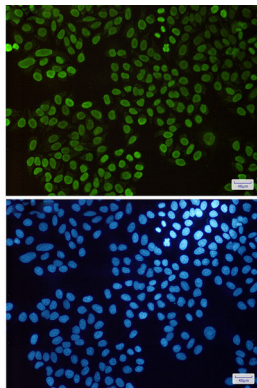
トンH1は、ヌクレオソーム鎖を高次構造の繊維に凝縮するために不可欠です。また、クロマチンリモデリング、ヌクレオソームスペーシング、DNAメチル化を介して、個々の遺伝子転写の調節因子としても機能します。

研究分野

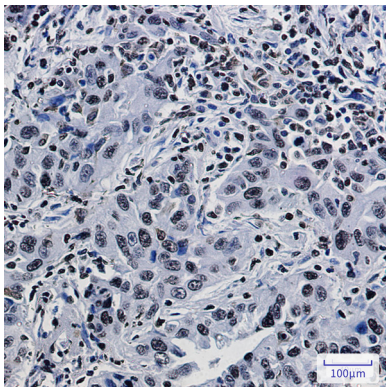
画像データ



ヒストン H1.3 抗体を使用した C6、3T3、HeLa 溶解物中のヒストン H1.3 のウェスタンブロット分析。



ヒストン H1.3 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中のヒストン H1.3 (緑) の免疫細胞化学分析



ヒストン H1.3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。